

【資料1】

業種別労働災害発生状況

(平成27年1月1日～平成27年7月31日)

北海道労働局

業種別	区分	平成27年			平成26年			対前年		業種割合 (%)
		死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
全産業合計		35	3,134	3,169	28	3,193	3,221	-52	-1.6	100.0
製造業		2	579	581	2	536	538	43	8.0	18.3
	食料品		303	303	1	251	252	51	20.2	9.6
	木材・家具		59	59		70	70	-11	-15.7	1.9
	紙・印刷		14	14		7	7	7	100.0	0.4
	窯業・土石		22	22	1	25	26	-4	-15.4	0.7
	金属・機械	1	90	91		102	102	-11	-10.8	2.9
	その他	1	91	92		81	81	11	13.6	2.9
鉱業	鉱山							0	-	
	土石採取業	1	13	14		12	12	2	16.7	0.4
建設業		13	449	462	8	456	464	-2	-0.4	14.6
	土木工事業	5	150	155	6	150	156	-1	-0.6	4.9
	建築工事業	3	204	207	2	190	192	15	7.8	6.5
	木造建築業	1	46	47		57	57	-10	-17.5	1.5
	設備工事業	4	49	53		59	59	-6	-10.2	1.7
道路貨物運送		3	369	372	3	424	427	-55	-12.9	11.7
その他の運輸		3	119	122	1	156	157	-35	-22.3	3.8
陸上貨物取扱		1	21	22		19	19	3	15.8	0.7
港湾運送業		1	7	8		10	10	-2	-20.0	0.3
林業		2	40	42	3	53	56	-14	-25.0	1.3
水産業			71	71	3	71	74	-3	-4.1	2.2
商業		4	467	471	3	482	485	-14	-2.9	14.9
清掃・と畜業		1	191	192		176	176	16	9.1	6.1
上記以外の事業		4	808	812	5	798	803	9	1.1	25.6

死亡災害については死亡災害速報、休業災害については労働者死傷病報告書(休業4日以上)による同期間中に把握した件数の前年同期の対比である。

【資料1】

業種別労働災害発生状況その2

(平成27年1月1日～平成27年7月31日)

北海道労働局

業種別	平成27年			平成26年			対前年		業種割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
小売業	4	380	384	1	390	391	-7	-1.8	12.1
医療保健業		73	73	2	64	66	7	10.6	2.3
社会福祉施設		145	145	1	149	150	-5	-3.3	4.6
旅館業	3	51	54		46	46	8	17.4	1.7
飲食店		86	86		91	91	-5	-5.5	2.7
ゴルフ場		18	18	1	24	25	-7	-28.0	0.6
警備業		37	37	1	28	29	8	27.6	1.2

【資料2】

署別・業種別災害発生状況（平成27年1月1日～平成27年7月31日）

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業				道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	商業	清掃・と蓄業	左記以外の事業	対前年比増減率
		計	食品製造業	木材・家具	紙・印刷	窯業土石製品	金属・機械	その他製造業	鉱山	土石採取業	計	土木工事業	建築工事業	木造建築業										
札幌中央	539	53	24	4	1	1	18	5		50	11	25	9	5	74	44	3			1	105	55	154	-10.6%
	482	48	20	4	1	2	12	9	1	52	13	23	6	10	44	37	6				96	50	148	
札幌東	639	88	32	6	4	1	28	17		96	36	42	6	12	115	43	11				144	16	126	5.3%
	673	101	51	3	3	1	23	20		98	27	59	1	11	106	42	12				137	39	138	
函館	249	59	40	5		4	8	2		48	16	21	5	6	18	14	1		5	7	20	13	64	-10.4%
	223	63	41	6		3	9	4		31	14	11	3	3	27	12	1		3	10	26	15	35	
小樽	104	26	14	2			2	8	1	10	2	2	5	1	7	5	2		1	1	15	8	28	-6.7%
	97	27	15	3	2		2	5		9	4	3	1	1	11	2	1				9	6	32	
岩見沢	105	20	7	2		3	2	6	3	21	10	8	2	1	8	3			1		15	7	27	-5.7%
	99	28	9			5	6	8		16	6	6	2	2	12	2			1		9	6	25	
旭川	231	27	10	7		3	5	2		43	10	18	8	7	38	10			7		31	15	60	-3.9%
	222	36	14	6	2		7	7	1	38	9	12	10	7	26	6			2		35	16	62	
帯広	227	46	28	2		3	7	6	2	24	7	13	1	3	30	3	1		6	2	31	14	68	5.3%
	239	51	34	5	1	1	2	8	4	23	5	13	3	2	32	5			13	1	30	10	70	
滝川	90	18	6	2		1	5	4		21	9	10		2	12	1			1		12	7	18	-5.6%
	85	17	9	3	1	1	2	1	1	21	11	8	2		7	2				1	11	5	20	
北見	160	35	12	10		2	4	7	3	34	14	11	5	4	21	3			6	10	16	2	30	-1.3%
	158	35	18	10		3	2	2		27	6	16	3	2	14	2			4	13	20	11	32	
室蘭	97	18	5	1		1	8	3		15	2	6	2	5	12	3				2	19	4	24	-11.3%
	86	21	10			2	4	5	2	14	4	5	3	2	9		1			1	9	5	24	
釧路	269	69	46	7		3	5	8	1	42	20	16	2	4	27	9		2	7	22	29	12	49	1.9%
	274	61	40	5			9	7	1	50	25	22	1	2	32	5		2	5	24	28	13	53	
名寄	71	21	10	8		1	2			13	3	5	2	3	4	2			7	6	4	2	12	-7.0%
	66	18	8	3		1	3	3		15	5	5	3	2	3	2			4	2	5	2	15	
留萌	30	1	1							5	2	2	1		4	1			3	5	5	1	5	53.3%
	46	2	2							10	4	3	2	1	7				1	5	6		15	
稚内	45	6	4					2		7	2	3	2		6	1			4	4	3	3	11	2.2%
	46	8	7					1		8	5	1	2		5				2	7	4	2	10	
浦河	84	3	2	1						8	4	1	3		5	1			3	12	1	1	50	3.6%
	87	6	1	4		1			1	11	4	4	2	1					3	5	9		52	
苫小牧	234	43	9	12	2	3	8	9	1	17	8	5	1	3	40	13	1	8	4		32	13	62	2.1%
	239	50	17	7	3	1	10	12	3	26	9	9	2	6	36	5	2	5	2	2	32	10	66	
倶知安	47	5	2	1				2		10		4	3	3	6	1			1	2	3	3	15	
	47	9	7		1	1				13	4	7	1	1	1				2		5	2	15	
合計	3,221	538	252	70	7	26	102	81		464	156	192	57	59	427	157	19	10	56	74	485	176	803	-1.6%
	3,169	581	303	59	14	22	91	92		462	155	207	47	53	372	122	22	8	42	71	471	192	812	
対前年比増減率	-1.6%	8.0%	20.2%	-15.7%	100.0%	-15.4%	-10.8%	13.6%		16.7%	-0.4%	-0.6%	7.8%	-17.5%	-10.2%	-12.9%	-22.3%	15.8%	-20.0%	-25.0%	-4.1%	-2.9%	9.1%	1.1%

(注) 本統計は死傷病報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

平成27年における死亡災害発生状況 [速報]

(平成27年1月1日～平成27年7月31日)

業種	平成27年		平成26年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	35 (6)	100.0	28 (1)	100.0	7	25.0	2	7.4
製造業	2 (0)	5.7	2 (0)	7.1	0	0.0	0	0.0
鉱業	1 (0)	2.9	0 (0)	0.0	1	—	1	—
建設業	13 (2)	37.1	8 (0)	28.6	5	62.5	3	37.5
交通運輸事業	3 (1)	8.6	1 (0)	3.6	2	200.0	1	100.0
陸上貨物運送事業	4 (1)	11.4	3 (1)	10.7	1	33.3	1	50.0
港湾運送業	1 (0)	2.9	0 (0)	0.0	1	—	1	—
林業	2 (0)	5.7	3 (0)	10.7	-1	-33.3	-1	-33.3
その他の事業	9 (2)	25.7	11 (0)	39.3	-2	-18.2	-4	-36.4

(注)1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

平成27年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

北海道労働局

(平成27年1月1日～平成27年7月31日)

業 種	平 成 27 年		平 成 26 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	9 (2)	100.0	11 (0)	100.0	-2	-18.2	-4	-36.4
卸売業又は小売業	4 (0)	44.4	3 (0)	27.3	1	33.3	1	33.3
医療保健業	0 (0)	0.0	2 (0)	18.2	-2	-100.0	-2	-100.0
社会福祉施設	0 (0)	0.0	1 (0)	9.1	-1	-100.0	-1	-100.0
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
ビルメンテナンス業	1 (0)	11.1	0 (0)	0.0	1	—	1	—
ゴルフ場の事業	0 (0)	0.0	1 (0)	9.1	-1	-100.0	-1	-100.0
警備業	0 (0)	0.0	1 (0)	9.1	-1	-100.0	-1	-100.0
農業・畜産業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
水産業	0 (0)	0.0	3 (0)	27.3	-3	-100.0	-3	-100.0
その他	4 (2)	44.4	0 (0)	0.0	4	—	2	—

(注)1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

死亡労働災害の概要(前月把握分)

【資料6】

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	7	16時台	小売業	30人以上 49人	はさまれ まれ・巻き込	一般動力機械	農家の農機具倉庫内で、ジャガイモ収穫機の点検・修理作業を行っている被災者と連絡が取れないため、様子を見に行ったところ、収穫機の茎葉ローラー（ジャガイモから茎を外すローラー）に巻き込まれている被災者を発見したものの。
27	7	18時台	道路貨物運送業	30人以上 49人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、神奈川県から北海道へ向けて25トントラックを運転中、常磐自動車道下り線でサービスエリアに向かう片道一車線の流出路において、右カーブを曲がり切れずに横転しコンクリート側壁に衝突したものの。
27	2	17時台	旅館業	30人以上 49人	おぼれ	環境等	被災者は、エゾフクロウの餌付けのために、沢に設置された生簀に活魚を入れる作業中、川岸を除雪していたところ転倒し溺水により死亡したものの。
27	7	14時台	建築工事業	10人未満	はさまれ まれ・巻き込	動力運搬機	被災者は、ダンプトラックにより搬入した外構工事用のアスファルト合材を荷下ろしするための段取り作業中、上昇させた荷台が不意に下降し、何らかの目的で荷の下に入った被災者が荷台と車体の間に挟まれたものの。
27	7	10時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	墜落・転落	動力運搬機	被災者は、林道新設現場へ骨材を運搬するため、ダンプトラックを運転し林道を走行中、林道脇の崖をトラックごと約55m転落したものの。
27	7	12時台	小売業	10人以上 29人	感電	電気設備	被災者は、ホテルの洗い場に設置されている自社製品の食洗機を修理するため、一人で配電盤室にて配電盤のカバーを開けて食洗機の開閉器の点検作業をしていたところ、露出していた200Vの充電部分に左肩が接触して感電したものの。

平成27年北海道内で発生した熱中症（速報）

2015/8/17把握分

北海道労働局労働基準部健康課

No.	発生日		時刻	業種	年代	休業程度(日)	発症時の気温℃	発生時の作業
1	6	12	14時台	化学工業	50	2	21.1	屋外で輸送用ケージの整理作業を行っていたところ、体調が悪くなったもの。
2	6	26	15時台	その他の建設業	60	1	26.7	型枠資材の運搬作業を終え午後休憩中、頭痛症状を訴え脱力状態となったもの。
3	7	9	15時台	電気機械器具製造業	30	1	27.9	水分補給のために休憩し、製造ラインに戻ろうとしたところ、体調が悪くなったもの。
4	7	14	15時台	その他の建設業	40	1	33.7	屋外の建設現場において矢板を打設する作業中、気分が悪いと申し立てたため病院へ搬送されたもの。
5	7	21	11時台	林業	60	6	27.3	山中で下草刈りを行っていたところ、体調が悪くなったもの。
6	7	22	11時台	化学工業	20	1	22.8	倉庫内での出荷作業が終了し、別の倉庫へ移動中に体調が悪くなったもの。
7	7	28	10時台	道路貨物運送業	60	1	28.2	土場で荷物の積荷作業を行っていたところ、体調が悪くなったもの。
8	7	30	13時台	建築工事業	40	1	25.0	埋設配管掘削作業に従事していたが、体調が悪くなったもの。
9	8	3	10時台	警備業	60	7	24.1	工事現場で交通誘導業務に従事中、めまい等体調不良で倒れ病院に搬送されたもの。
10	8	3	11時台	建築工事業	40	1	28.0	土納袋を一輪車に入れ運搬し、土をスコップで整地作業中に気分が悪くなったもの。
11	8	3	17時台	鉄鋼業	50	7	32.2 (室温)	屋内で製品の加工業務に従事していた被災者は、体調が悪くなったもの。
12	8	4	11時台	化学工業	30	1	30.3	前日の草刈り作業で集めていた草を処理していたところ体調が悪くなったもの。
13	8	4	13時台	農業	60	死亡	29.4	ビニールハウスで農作業に従事していたが、体調不調により早退し、入院していたが、3日後に死亡したもの。

気温の欄は、一番近くのアメダス等の記録を用いています。

網掛けは、休業4日以上です。